



UCHIDA Seira Portfolio

内田聖良 ポートフォリオ



グループ展「あきたの美術 2017」秋田県立美術館での展示風景 撮影：草彌裕

話こ

wacco

2017年

実家に溜め込まれた日用品

物品に記録された記憶

パフォーマー

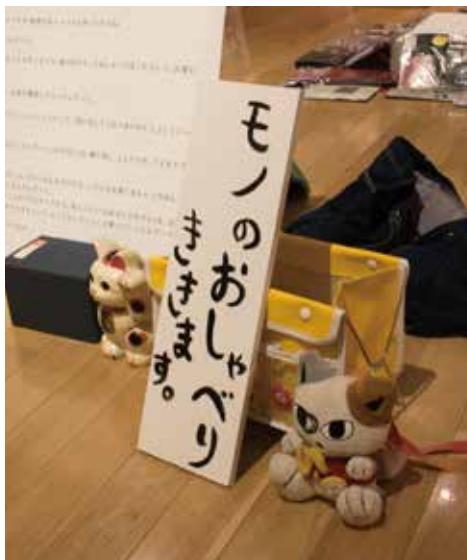
インスタレーション

実家にある大量の日用品と、それから母親が引き出した記憶をもとに、「家の内側と外側」の「あいだ」を、はしわせないかという考えのもとに制作。

展示は印刷されたテキストと、実家から掘り出された日用品（買い物する際にもらえる紙袋や、パッケージに入ったままのストッキング、値札のついたままの洋服、クリスマス関連グッズなど）で構成した。

テキストはイントロダクションと、おとぎ話や小説のいち場面のような断片的な「おはなしのかけら」にわけられる。「おはなしのかけら」は、母親が溜め込んだ物品と向き合った結果引き出された記憶をもとに、母親自身に執筆してもらった。

イントロダクションは、全体を包括する物語となっており、物の声をきいて「おはなし」をつくる仕事をする「おんなのひと」が登場する。展示会場には、「おんなのひと」の手伝いという役柄のパフォーマーがテキストを読み上げたり、観客と会話をしたり、お話しづくりのつづきをつくったりする。





パフォーマーによる「紙袋芝居」のようす



クリスマス関連の紙袋やクリスマス商品でつくられたツリー

使用テキスト抜粋

イントロダクション：話こ（わっこ）のお話

ここは、おかの上、みどり色のやねのちいさいおうち。

このおうちにはおんなのひとがすんでいて、モノをだいじにするあまり、モノが喋ってる声が聞こえるようになってさ、紙袋や、お洋服なんかともおしゃべりできるようになったんだって。

おんなのひとは、楽しいおしゃべりが出来たモノを家に持って帰っていたんだって。

モノとおしゃべりしたことは、友達には内緒にしていたんだって。

だって、モノのおしゃべりを聞ける人は、おんなのひとしかいなかつたし、おしゃべりのなかには、人には話せないような恥ずかしいおしゃべりや、秘密のおしゃべりもあったからね。

モノとおはなしすると、おんなのひとのおうちのなかに、しらない香りがしたり、きいたこともない鈴の音がなったりして、とっても楽しいんだって。

でも、おひさまがのぼり、おつきさまがのぼるのを1000かいくらい繰り返したころ、おんなのひとはすっかり忙しくなって、家の外にいることが多くなった。家の外のモノとおしゃべりばっかりして、お家にあるモノのことは、忘れちゃったんだって。

おうちのモノたちは、楽しくお話をすることを忘れられてしまって、泣いちゃったんだって。

そうしたら、おんなのひとのお家にはたくさんのモノがあったから、泣き声がたくさん合わさって、すごく大きな泣き声になったもんだから、お家が爆発しちゃったんだって。

おんなのひとはとってもびっくりして、そのあとモノたちのことを忘れていたことに気づいて、謝ったんだって。

モノたちは、おんなのひとが自分たちのことを思い出してくれて嬉しかったんだって。でも、お家が爆発しちゃったから、別のひとのお家に行くことにしたんだって。「思い出してくれてありがとう。」っていって、沢山のモノが他の人のおうちに旅立っていったんだって。

おんなのひとは、寂しかったけど、お家にあるモノたちのことを忘れてしまったことを反省して、モノとのおしゃべりを「おはなし」にすることにしたんだって。「おはなし」は、繰り返し、ともだちや、こどもたちに話すから、モノがいなくなっていても、おしゃべりした楽しい思い出を思い出すことが出来るからね。

ある日、お客様がやってきた。サヨナラしないといけないモノのことを、おんなのひとに「おはなし」にしてもらったら、忘れないと思ったんだって。だからおんなのひとは、いろんなお家にあるモノのおしゃべりも聞いたんだって。そうやって、いろんなお客様が「おはなし」をつくってほしくてやってくるから、そのおうちには「話こ」とよばれるようになったんだって。

「話こ」に今日もお客様がやってきた。「あたらしいおはなしは、もうできていますかあ？」おんなのひとは、そんなに急いでおはなしをつくることができなかったから、あたらしい「おはなしのかけら」を、お客様にわたしたんだって。「ああ、これは、いい。わたしは、このおはなしに、とってもぴったりなつづきをおもいつきましたよ」おきゃくさんは、かけらをもらって、とってもニコニコして帰っていったんだって。

また別のお客さんがやってきた。「わたし、これを思い出したくもないけど、忘れたくもないのよ」といって、モノとのひみつのおしゃべりを話してくれた・・・・

使用テキスト

おはなしのかけら（7つ中3つを選出）

◆ワタリガラスとスズメ

ワタリガラスは、スズメの憧れのスーパースターでした。

ワタリガラスは、賢く行動力もあったので、いろいろな物を創り出すことができました。

その世界の住人だったスズメは、楽しく暮らしていました。

ある時、スズメは、境界線を越えた先に何があるのか知りたくなり、住み慣れた世界を飛び立ちました。

スズメが行った先は、それまでとは違い、たくさんのルールがありました。

そのルールを守らないと罰せられます。

気づかず、傷つけたり傷つけられたり、スズメは疑心暗鬼になり、その国の生き物を信じられなくなりました。

その後、スズメは、自分のまわりにバリケードを作り始めます。

◆もうすぐクリスマス

もうすぐクリスマス

さきちゃんの家では、おばあちゃんがサンタクロースのプレゼントを考えていました。

おばあちゃんは、クリスマスのサンタクロースからのプレゼントは、何か特別な物を贈りたいと思っていました。

でも、なかなか思いつきません。

仕方がないので、化粧品やおしゃれな雑貨を売っている「マルミヤ」に行ってみました。

そこで、おばあちゃんが見つけたのが、黒いティンカーベルがついたコスメバッグです。

小学2年生のさきちゃんには、少々大人っぽいかなと思いましたが、バッグの中に孫の好きそうな物を詰めて渡そうと、バッグを包んでもらい、家路を急ぎました。

さきちゃんも家族の皆にプレゼントを考えっていました。

絵を描くのが好きなさきちゃんは、クリスマスカードを作ることにしました。

画用紙に、キラキラペンを使って、1枚1枚ていねいに絵を描きました。

おばあちゃんは、お花が好きだから、カードに、花に囲まれて笑っているおばあちゃんを描きました。

「すみれおばちゃんの花も描こう！」

皆が喜んでいる姿を想像して、さきちゃんはカードを作りました。

◆ダウニー

熊のダウニーは、都会で生まれ育ったことが自慢だ。

住んでいるのは小さなアパートだが、住所に青山と書くのが誇らしい。

いつか、青山で大きな家に住むのが夢だ。

そのため、熊社会だけではなく、いろいろなつながりを作ろうと必死で努力した。

念願かなって青山の大きな家に住めることになった時、ダウニーは今までの持ち物を全部捨てた。新しい自分になるために。



かみこあにプロジェクト 2017 展示の様子

ひとりの時間のすごしかた How to spend “me time” .

2017年
インスタレーション

カーテンに刺繡・ひとりぐらしの生活

秋田県上小阿仁村で暮らすひとり暮らしの人々の家を訪れておこなった取材をもとに制作したインスタレーション。これまで「ひとり暮らし」と聞けば、大学生が上京するためにはじめての親離れ…というイメージを持っていたが、同じ言葉が上小阿仁村で指す状況は全く異なっている。おなじ名前で呼ばれるイメージの異なる暮らしと交差する空間展開を試みた。

展示は、取材を元に執筆したテキストと写真、また、取材した方からいただいた物品と作者の私物も用いた。







凡人ユニットの、ぼんおどり 2017

2017年、パフォーマンス

2017, performance

作曲 中上淳二 作詞、歌：内田聖良 振付：凡人ユニット

【概要】

凡人ユニットが 2013 年より続けている伝統的な日本のダンス「盆おどり」と凡人がおどるダンス、という意味の「凡おどり」、をかけあわせた「凡人ユニットのぼんおどり」。2017 版では、「結婚ってなに？」 インタビュー や「ぼんじん体操」から、コラージュした振付と、歌詞が付いている。

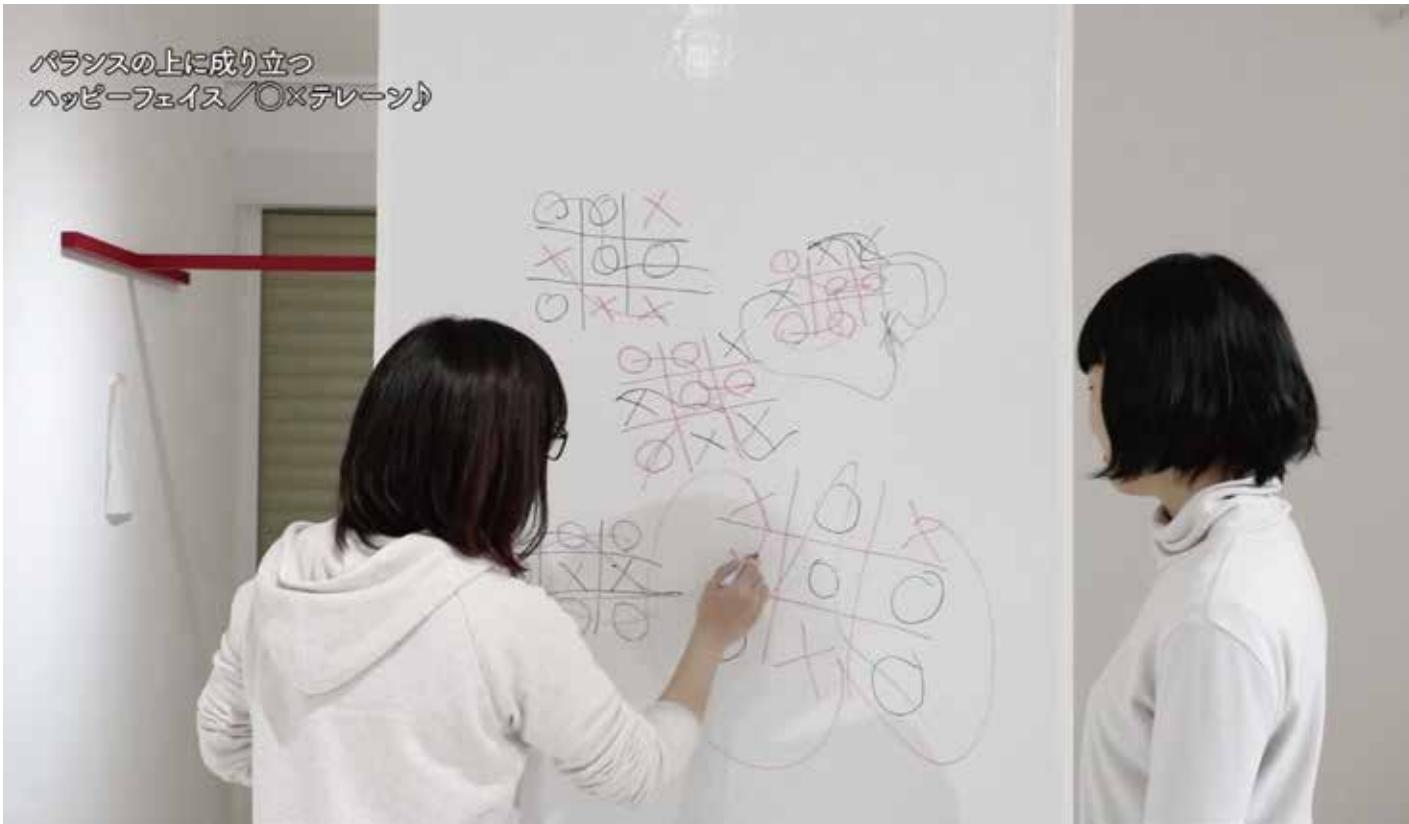
【歌詞】

少しづつ動いてる
知らないうちに持っている
仲良くないけど仲良く見える
ビニールハウスの中で寝てる

どちらも自由、仕組は崩壊
縁の用紙、取ってください
ふみきりには覚悟がいる
苗字を証明最後の機会

たくさんのピンク色が欲しい
友達ライバルポケモンばい
おれのしゅじん わたしのよめ
ビニールハウス未知の場所にある





(元の結婚観) バランスの上に成り立つハッピーフェイス／(解釈) OX ゲームをして盤面が埋まったあと、テレーン♪といながら同じマークをつなげる

© UEMATSU Shota

ぼんじん体操 “Bon-Excercises”

2016年～
映像・インスタレーション
movie installation

【概要】

約4年に渡り収集した「結婚」を表す動きを、凡人ユニットが再解釈し、動きやゲームなどの知的・身体的「体操」に仕立ててる。

【コンセプト】

インタビューを通して、「結婚」ということばにしてしまうと、ひとりくなりになる関係性が、他の表現に置き換えると、一組の人間関係のバリエーションであると考えるようになった。この作品では、凡人ユニットの2人がインタビューから得られた様々な「結婚」をしている。同時に、再解釈によって抽象度が高まり、「結婚」の枠組みを崩す「体操」でもある。



大きな家で幸せになりましょう／大きな椅子



婚姻届にハンコを押す／走り幅跳び



二重らせん／わかめ



うちわに物を載せてうごかす
／一定の距離を保ちながら正面に立つ

"Bon Odori -What is marriage?

凡人ユニットのぼんおどり
～結婚ってなに？～

2013~2017
インсталレーション／パフォーマンス

ドイツ、京都、岐阜、秋田で展示



【概要】

2013年、日本とドイツの「結婚観」をテーマに制作したリサーチ&パフォーマンス作品からスタート。結婚観についてのインタビューと、結婚観を表す「うごき」をあつめたDVD、その動きで構成した「ぼんおどり」、ぼんじん体操などの展示。

【コンセプト】

日本では、「ゼクシィ」等の「結婚雑誌」があり、お姫様のような格好をした外国人女性や、エステ、式場、で溢れている。同じ頃、「女性手帳」が話題になり、結婚と子育て、少子化を結びつけた考え方を押し付けようとする政策に、反発が起きていた。どちらも、結婚の形式の部分やステレオタイプのイメージをおしつけて、結婚はいいものだ」「していたほうが高い地位だ」と言われているようであった。しかし、「自分たちの身体にあうつながりがあるのではないか?」との気持ちから、結婚観や人との考え方を探るプロジェクトを行った。岐阜、京都、東京、秋田、ドイツなどで約60名のインタビューを撮影した。



2017.3 秋田公立美術大学ギャラリー、BIYONG POINT での展示



2017.3 秋田公立美術大学ギャラリー、BIYONG POINT での展示

余白書店



余白ネットワークの書店プロジェクト

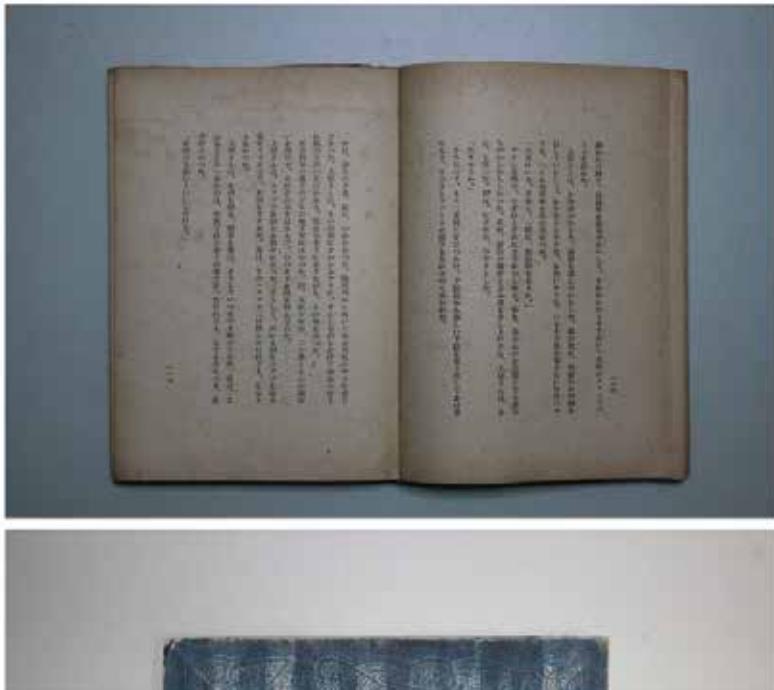
手垢の価値を評価しています。書き込みやメモがあり売ることができない本を無料で回収、査定、販売します。

- 余白書店とは
- 本の引き取りについて
- 購入方法

ヤケ
汚れ
書き込み
落丁
線、囲み
付箋
破れ
糞れ
しおり
病巣
におい
紙魚

KXX
ARCHIVE

余白しんぶん is out!
<http://t.co/MIOKytTs>
Stories via the book's



余白書店

Yohaku Shoten

book store 'Margin'

2013年～

web プロジェクト（古書店）

共同制作者 余白工事の会（石幡愛・小林橋花）

<http://yohaku-shoten.tumblr.com/>

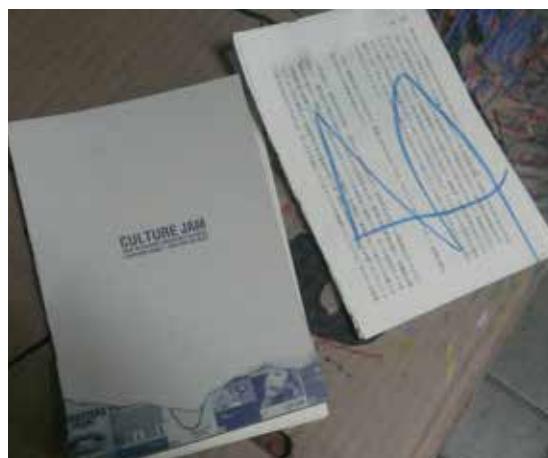
「余白書店」は、手垢の価値を評価するオンライン古本屋プロジェクトです。通常、「書き込み」「印」「線」「折り」「シミ」などの「消費された痕」は、本の価値を下げるものとして扱われます。これは、傷のない、パーソナライズされていないものに最高の評価をつける大量生産、大量消費社会のもとで染み付いた価値観といえるでしょう。余白書店プロジェクトでは、この「痕跡」を価値のあるものとして扱います。AmazonのマーケットプレイスとTumblrを用い、流通ルートをつくることでこの価値観を表現します。「痕跡=価値を下げる」という暗黙のルールのもとになりたっている状況を、「あそぶ」・「間違って使う」ことで、ルールに則った場合、エラーになってしまふことを、生活の中に潜ませていきます。AmazonやTumblrという、2013年の日本で、おおよそインフラになりつつあるシステムを使用した、芸術や美術館、ギャラリーとは違う広がりを持つプロジェクトです。

"Yohaku-shoten" ; the book store "Margin" is a project as a form of used book store.

"Yohaku-shoten" evaluates books which have traces of consumption or passage of time, such as memos, tags, lines, missing pages, discoloration, etc. Usually such traces are considered as bad points and lower the value of books, which means that people value brand-new stuffs without any damage. This sense is, however, just a result of mass production and mass consumption.

Against this situation, we consider used books as "personalized books". We collect used books and evaluate their traces of use. Then, we upload photos and descriptions of the books with Amazon URLs on our tumblr, and sell them on Amazon market place. You can buy them.

If you have some used books and will not use no longer, you can contribute them to us according our guideline.



amazon.co.jp

マイストア Amazonポイント ギフト券 タイムセール 出品サービス ヘルプ

4/9 にWindows XPサポート終了
乗り換えストア

カテゴリーカラーアクション - すべて 検索 こんにちは、[まさん](#)
アカウントサービス - 今すぐ登録 ブラウジング カート - ほしい物リスト -

余白書店

評価: ★ 新規出品者 (まだフィードバックはありません。)

詳しい出品者情報

この出品者のほかの商品を検索: Go

余白書店 のほかの商品:

評価: ★★★★★ (25) ¥ 1,750	評価: ★★★★★ (1) ¥ 817	評価: ★★★★★ (1) ¥ 1,274
評価: ★★★★★ (17) ¥ 4,200	評価: ★★★★★ (2) ¥ 3,000	評価: ★★★★★ (1) ¥ 1,696
評価: ★★★★★ (1) ¥ 3,900		評価: ★★★★★ (1) ¥ 3,900

ページ: 1 / 3 前へ 次へ

出品者情報

余白書店は、お客様に高水準の商品やサービスを提供するよう、努力を惜しません。

評価履歴:

評価	30日間	90日間	1年間	全評価
高い	-	-	-	-
普通	-	-	-	-
低い	-	-	-	-
評価数	0	0	0	0

この表の見方

Amazonマーケットプレイス保証

Amazon.co.jp では、購入者の方が、Amazonマーケットプレイスの出品者が商品を安心して購入していただくために、保証プログラムを用意しています。Amazonマーケットプレイス保証は、購入された商品のコンディションや配送を保証するものです。詳しくは[こちら](#)。

返品および返金について

返品および返金について詳しくは、[Amazon.co.jp 返品ポリシー](#)をご覧ください。返金について、詳しくは、余白書店にお問い合わせください。

詳細

- 出品者に連絡
- カスタマーサービスへのお問い合わせ
- 発送料金の配送にかかる時間
- プライバシーおよびセキュリティ

余白書店の3ステップ



手渡しおよび郵送による手垢本(書き込み・シミ・付箋などの読み跡のある本)の引取を行います。

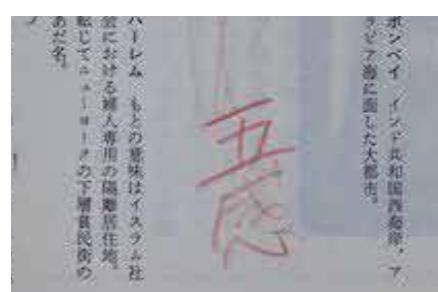


本人査定価格、もしくは運営メンバーによる査定会で手垢の価格を査定し、定価に上乗せします。



TumblrとAmazonマーケットプレイスをつかって、販売します。

査定した手垢(一部)



自己分析の書き込まれた本や、紙魚によってたべられて質感の変化した本、付箋の貼り付けられた本や、切り抜きがされた本など、読んだ人のエピソードがうかがい知れる手垢のついた本を査定しました。

2013年の時点で、30冊程度を出品し、現在は査定会ワークショップや、古本市等をおこない、プロジェクトを進めています。



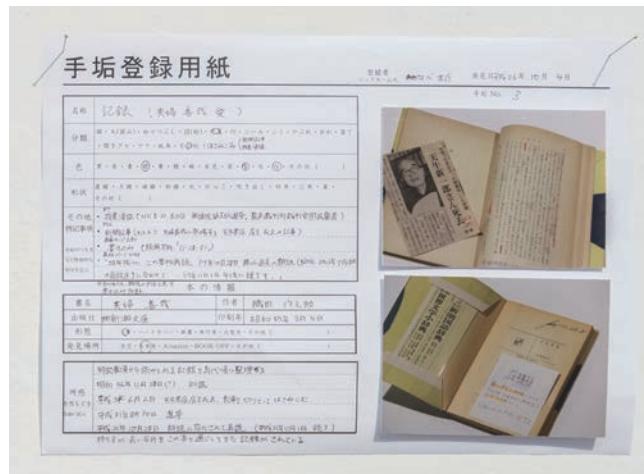
1foor 2014 「またのぞき」 展示の様子 神戸アートビレッジセンター 撮影：表恒匡

手垢手帖 Database of TEAKA project

2014年～
web プロジェクト・ワークショップ

http://seeeeer.main.jp/yohakunakama_beta/

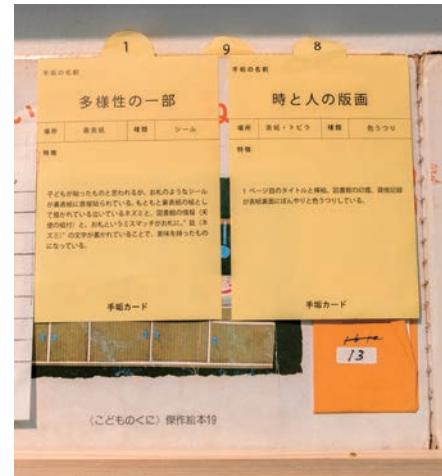
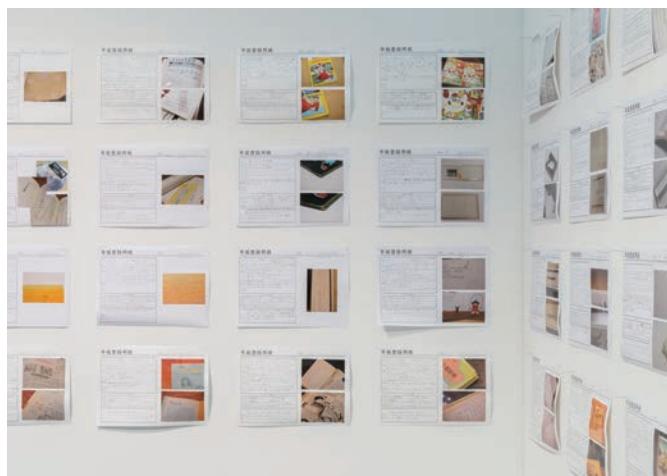
この作品では、《余白書店》が取り扱っている「手垢本」を、図書館の除籍本など Amazon には流通できない範囲まで、より広範に収集し、「手垢」のデータベースを作成した。そして、そのデータベースを介して、《余白書店》の活動へ参加するためのツールとした。「古本」には、希少性や劣化具合など、古本業界の評価軸があり、《余白書店》では、その業界の視点とは異なる様々な人が「手垢本」を評価をすること、また、その評価は統一したものではなく、各人によって「手垢」を評価する価値基準が異なる。この発見から、Web と展示・ワークショップを通して「手垢」や、「紙の本のサーフェイスのレイアウト」がどんな役割を担っているのかより深く探求した。参加者は、紙または Web から「手垢」を登録することができる。



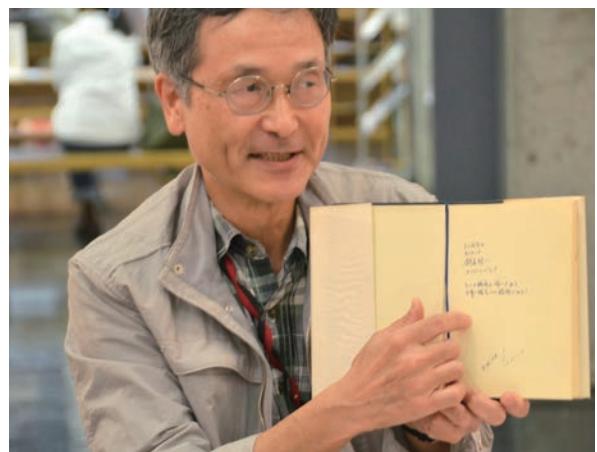
撮影：表恒匡

手垢手帖とは、『余白書店』のなかま(須道勇)のための、「手垢」のデータベースです。
「手垢」とは、本を登録した際につく、黄ばみ、付着、シミ、落丁などのこと。
『余白書店』は、いまままで古本の出張買取で始めた「手垢」や「須道勇『見た目のかわいさ』」といった観点とは違い、人々の本を読んだあと残す端末についての言及です。
これらの、本の表面を汚すものとして扱われる「手垢」を、余白書店では、「個性のある本」として、個性のあるものとして扱っています。

本の余白とは、文字の書いていない、白い部分です。そこには様々な人の手が加えらる「余白」がこなっています。「余白」は、あってもなくてもかまわない「なにもないところ=無地面」と言われやすいかもしれません。実は、私たちの日常で行動を可能にするものでもあります。「余白」に残されたさまざまな「手垢」のバリエーションが、それぞれの人々の「しつくりく」、他の引き方、感傷のぶりを示すものだったのです。



撮影：表恒匡



ワークショップ あなたの余白書店を作ろう！ 神戸アートビレッジセンター

このワークショップでは、参加者がそれぞれ自分の「手垢本」を持ち寄り、または会場に集まつた「手垢本」のなかから、自分の気に入りの物を見つけ、その気に入った点について用紙に記入する。また、オススメポイントなどをポップとして記入し、会期中に展示した。

デバイスとアプリケーション

だれでも使える、つくれるをテーマに、凡人ユニットが制作しているウェアラブルデバイス。導電布や電動糸と、市販の手袋などを使用して、身につけられるスイッチとアプリケーションを制作し、体を動かすだけで映像を変化させることができます。ハンダ付けをしなくても制作できる、お金をかけずウェアラブルデバイスをつくれる、また、ファッション性を取り入れることで、若者や女性にも親しみやすくなっています。Arduinoと組み合わせて、パフォーマンスに使います。



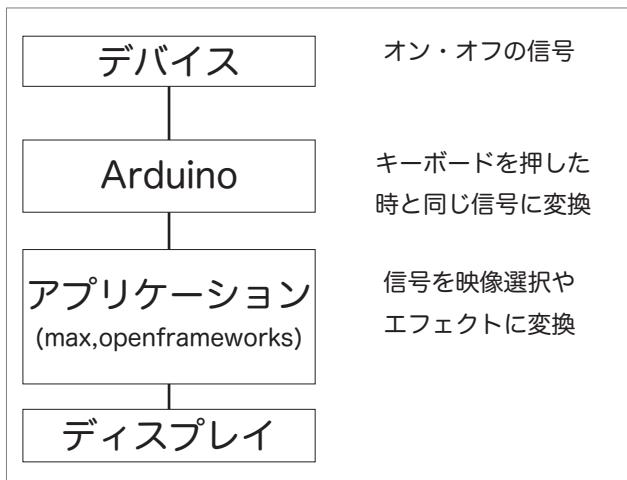
導電布の部分を合わせると、スイッチになります。ハンダ付けではなく、布に適したスナップボタンをつかい、ケーブルを着脱可能にしています。



シリクスクリーンやレーザーカッターなどを使用、ファッション性と機能性を追求し、改良を重ね、現在は3代目を使用。



さまざまな場所に身につけられるよう、多数のアイテムを制作。



アプリは max と openframeworks で制作した 2 種類ある



足踏みや手を組んだりする操作に合わせ、映像を変化させる。VJ イベントやパフォーマンスで活用。

ディリーライフ（日常の戦術の試作 1）



ふたつの会場をネットワークでつないだ作品。 上：蓬莱峡ブルートレイン会場 下：旧船坂小学校用務員室



窓カバーを開け閉めすると、音が流れ、モールス信号に似せた信号遊びになっている。同時にその信号が、用務員室に信号が送られる。

兵庫県西宮市/旧船坂小学校用務員室および蓬莱峡ブルートレイン内

制作：凡人ユニット（内田聖良+清水都花）

2012・インスタレーション

用務員室に残された日誌のコピー・木炭・スピーカー・電車の窓カバー・その他ミクストメディア

技術協力：大石桂誉・二宮諒

【概要】

車掌車と用務員室をネットワークで繋ぎ、鑑賞者は車掌車から用務員室に信号を送信できます。そして用務員室のドローリングロボットが、用務員さんが小学校の閉校まで記録していた日誌の上を動きます。

こうして、展覧会に訪れた人の行為が毎日、記録されていきます。加えて、日誌に記録された線の情報が、送られてくる信号に混ざるようプログラムされており、日に日に信号が複雑化していきます。つまり、コントロールしようと信号を送れば送るほどノイズが増え、ロボットは制御不能な、いきもののようにになっていきます。

【コンセプト】

私たちは、様々なシステムを利用していると同時に、沢山のノイズを作り出しているはずです。しかし、そのノイズがあるからこそ、日常は面白いとも言えます。本作品では、一方が一方のコントローラーであるという関係が次第に崩れていき、お互いを干渉するでもなくしかし互いに違った動きをします。本作は、私達が大きなシステムの中で何とかやっていくための戦術・関係性の試作です。



ドローリングロボット。振動によって線を描く

モールス信号 Morse code

アルファベット alphabet

A	● ■	B	■ ● ● ●	C	■ ● ■ ■ ■
D	■ ■ ●	E	●	F	● ■ ■ ■
G	■ ■ ■	H	● ● ● ●	I	● ●
J	● ■ ■ ■	K	■ ● ■	L	● ■ ■ ● ■
M	■ ■	N	■ ●	O	■ ■ ■
P	● ■ ■ ■ ●	Q	■ ■ ● ■	R	● ■ ■ ●
S	● ● ●	T	■	U	● ● ■
V	● ● ● ■	W	● ■ ■	X	■ ● ● ■
Y	■ ■ ■	Z	■ ■ ■ ●		

トレイン内で遊ぶための信号図（一部）

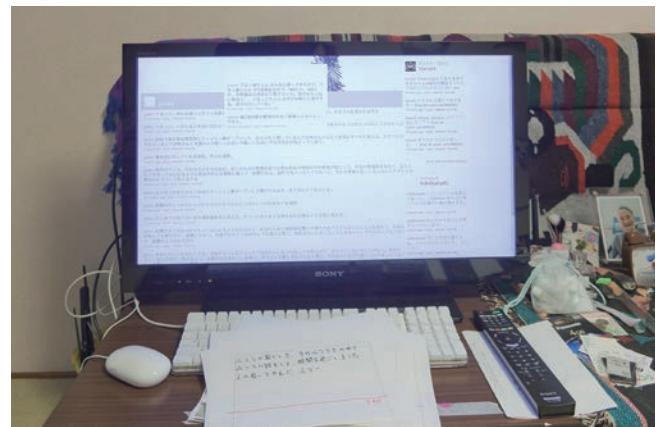


ハウスキーピング

インсталレーション・ウェブページ

bot (Easybotter/ マルコフ連鎖・yahoo 形態素解析 API) ·
ネットワーク (インターネット) · 原稿用紙・声

技術協力 (サーバ構築) : 大石桂誉
東京都文京区／ぐるっこのいえ／2012.07



【コンセプト】

展示会場でもあり、展示期間中も住人である女性三人が生活をする「ぐるっこ展」の会場「ぐるっこのいえ」は、シェアハウスともイベントスペースとも呼ばれるが、実際は、一軒家でもないし、住所は非公開で全くの他人が突然訪れることもできず、一般的に「シェアハウス」や、「イベントスペース」と言われて思いつくイメージとはズレがある。

ぐるっこのいえにかぎらず、私たちは言葉によって様々な事柄を説明、定義していく。しかしそれらと、示そうとした事物の間には、しばしば隙間や空間があって、そのものではない。無意識のなかに入り込む言葉や風景からも、イメージがかたちづくられる。言葉は、実際に触れたりする世界とはまた別の空間を生成している。本作では、噂がつくるイメージから言葉そのものを手触りのある状態、それぞれの文脈から意味が浮遊する、切り離された状態で提示できないかと試みた。そうすることで、なにが私達の先入観やイメージを形作っているのかを意識化できる空間を制作したかった。

タイトルについては、「女性」3人が暮らすこの「ぐるっこのいえ」や、ぐるっこのいえの出たり入ったりする人がつくる揺れ動きながら相互的に作られる定義のズレを「家を維持する (housekeeping)」という言葉と重ねあわせた。



住人が暮らしている部屋の一部に、作品を忍び込ませるかたちで、インスタレーション作品として公開

ぐるっこちゃん
grkkc

この家は時間がいまでもある。リフレイン。
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc 意識の外的刺激が、ぐるっこを歩きながら自分の間みたいなポジション、ぐるっこを通じて置き換わる。リフレイン。色んな場所でもあり、ぐるっこを通じて置き換わる。リフレイン。
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc お姉ちゃんの居場所をもっているクマ。
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc つながる場所。何かがいまでも記憶に残っている人ばかりたくさん居てしまう。
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc 基本的にティッシュ箱オーブンしている！
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc お姉ちゃんの家なのに残ってしまう。
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc 初めて来た家なのに、鼻をかみだした家なのに、鼻をかみだした家だなあ。
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc 基本的にティッシュ箱オーブンしています。
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc 基本的につれている！
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc この家は時間がいまでもある。リフレイン。
79 days ago · reply · retweet · favorite

grkkc 意識の外的刺激が、ぐるっこを歩きながら自分の間みたいなポジション、ある男性が常におこっている人や情報の家なのにイメー

かんむり ななな
tiarart

明日の夜ぐるっこではこんなイベントが行われます。都内近郊にいらっしゃる関西の方必見です！ぜひ遊びに来てください。
fb.me/1B4ATkZYG
2 days ago · reply · retweet · favorite

tiarart 今日は人生初の不慮の事故が起きたりしたりしてびっくりな一日だったなー。(ー_ー)今年は早めな厄年な気が。いろいろ気をつけようっと。
yesterday · reply · retweet · favorite

tiarart 久しぶりにぐるっこ回覧板メールマガジンを送った。Gmailのアドレスからってauと相性悪いのかな？結構洋げず見へづきアリ。
Join the conversation

IshihataAi
IshihataAi

「佐藤は見た!!!!」
は、記録や発信に興味がある人、ジャンル問わず現場のことを外に伝えようとしている研究者にもぜひ見てほしい。私は、去年の展示を見た（去年のは荒削りだったけど、それでも、自分が記録や発信に関して悩んでいる課題への大事なヒントがあると思ったから。
yesterday · reply · retweet · favorite

IshihataAi RT
@ogawa_tomonori: 秋葉原。3331. 展示「佐藤は見た!!!!」。浜松の障害福祉サービス事業所、アルス・ノヴァで生まれるストーリーを「もの」として展示。関係者のアートレア展小冊子だよ。

web ページのスクリーンショット

【作品概要】

ぐるっここのいえの住人に「ぐるっここのいえ」について 140 字以内の文章で定義してもらう。^{*0} 文章を形態素解析し、マルコフ連鎖で文章を自動生成する bot 「ぐるっこちゃん」アカウントに上記の 6 つの文章を解析させ、新しい「ぐるっここのいえの定義」がリアルタイムで生成されつぶやかれる。もうひとつの twitter bot 「ぐるっ娘ちゃん」アカウントは、住人のそれぞれのアカウントのつぶやきに含まれる単語をつかい、新たに文章を生成する。

来場者も 140 字以内の定義を書き残すことができ、それらのつぶやきも「ぐるっこちゃん」アカウントの形態素解析・マルコフ連鎖に反映されるので、「ぐるっこちゃん」アカウントは日に日に使用される単語が増えていく。

また、会場には、住人がぐるっここのいえを定義した文章 (^{*0} の文章) を、本人が読み上げる音声が流れている。



メディアジム・道具をつくる身体をつくる

「機械の言語を身につける」（ドキュメント展示）

「回路に触る（曲げるための①）」（ワークショップ）

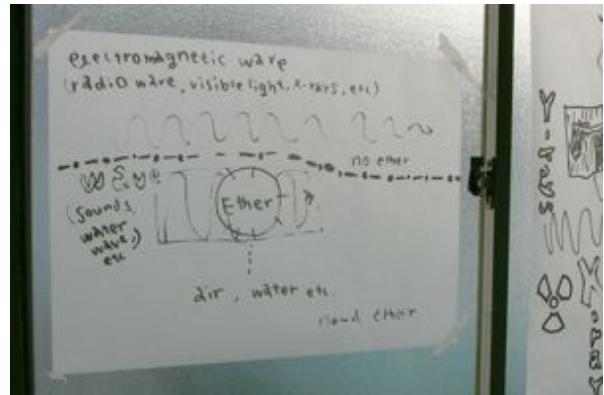
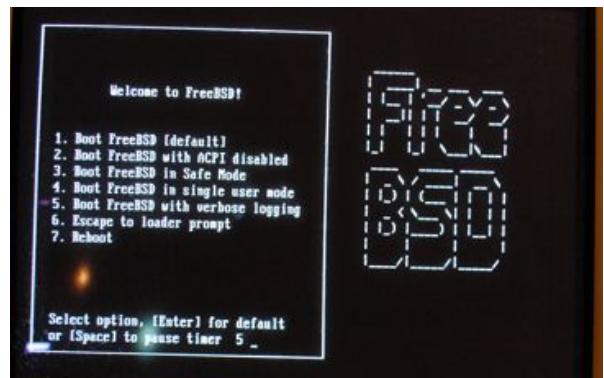
2011-12

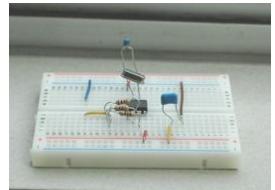
リサーチ・ワークショップ・成果展示

コ-ボ[®]北加賀屋 / 大阪府

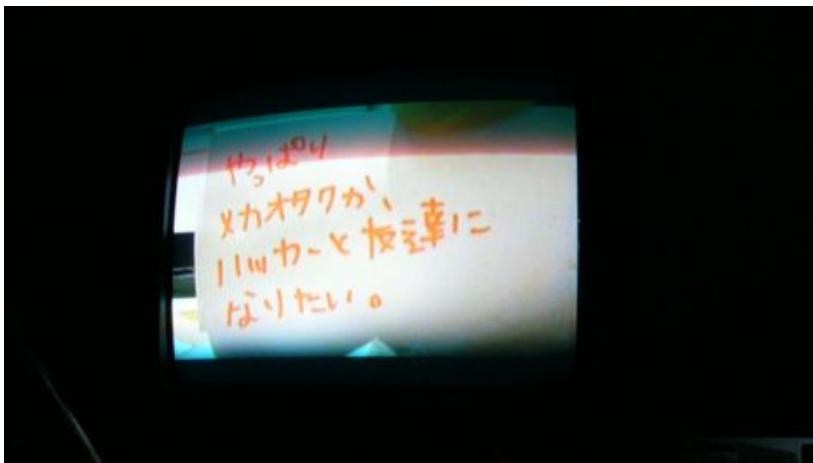
メディアのブラックボックス化・マスメディアのメッセージに否応なく影響されてしまう状況に対して、素人と専門家とのつながりをつくることで道を探してきた。メディアジムは、作家が自分のためのワークショップやリサーチなどを企画するプロジェクト。その中で、素人である自分が、メディア技術を基礎、その背後にある思想・DiY の心持ち、また技術的発展に関する社会的背景もふくめて、自分自身の今ある状況がどのような経緯を経て、どのような社会的な力が働いて作られたのか自覚し、そのうえで今ある構造をどう使用出来るのか、どうずらして使用できるのか、どう関わっていくかを探る企画を提案した。

FreeBSD での作業、電子工作でトランジスタの意味を調べ続ける、粉川哲夫さんにインタビューをしてわかりあえず終わるなどの経験を経て、機械そのものが、本心を明かさない他人、文化の違いでコミュニケーションの取れない異国の人のような感覚になつた。





電子工作を行う手元の映像のプロジェクト、説明書や電子工作機器、ドローイングなどをインストレーションとして構成



成果展示 Document Media Gym では、メディアジム以前の活動内容も紹介



ワークショップのようす。
サーキットベンディングのワーク
ショップ「回路を触る」と、粉川哲
夫さん設計のFMトランスマッター
制作ワークショップの二度行う。



余白散歩 隙間版 (2011年／インストラクション・パフォーマンス)

余白散歩メンバー(余白散歩人)：内田聖良(美術作家)・兼盛雅幸(ダンサー)・小林橘花(リサーチャー)

散歩形式の作品。メンバー3人と参加者2、3名によって実地される。資本主義の目的のためにデザイン・広告が施された街の中で、如何にして街を「間違って使う」ことができるのか、参加者と共に実践していく。即興で公園にて身体的な遊びをしたり、散歩中の会話にわざと思い出をはさみ込むこと俯瞰の地図ではなく歩行する人の視点から空間を捉え記録していくことによって、目的のために歩くという概念から離れ、歩行の中にある、遊びや無意識にある情報処理と身体の関係を意識化し、能動的に利用可能なものにしていくプロジェクト。

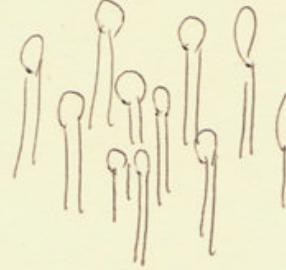
2011年、全13回の散歩のまとめとして、思い出・記憶によるMAPを作成。秋葉原には「秋葉原MAP」という非常に細かく店の名前が書かれた有名なMAPがあるが、それに対して「余白MAP」は“便利でない”ほぼ無用のMAPとなった。



散歩後に即興でつくられる記憶による「地図」

ルール：メンバーは3つのアンケート＊（インストラクション）を参加者にわたし、参加者はそれに回答したあと、終了時間までその質問に書かれた紙を持つように要求される。
目的地は持たない。
時間：散歩時間は2時間。

芳林公園



吉林公司

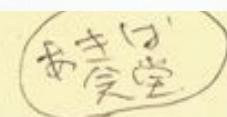
筆
むぎの因に

アヒル
カサハラ

上野

行不行
舊林 → 墻

行尸走肉



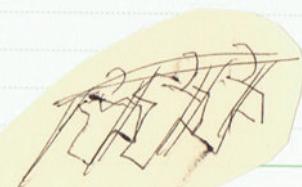
新華原食堂

新宿アカデミー食堂

ナウカニ
さあ、とか言お



$\sim n/r^2 \propto r^{1/2}$
 $(H - H_0)(r - r_0)$



6月11日



芳林公園
右にまがったとこのへいは道
レジのやつから

U.S.A. 11/21
11/18 E 10 黄色
DVD 2017



アーティスト・山下由貴とのコラボレーション「オタ芸ワークショップ」

LED とリボン

インсталレーション／パフォーマンス
アーツ千代田 3331 (東京の条件総会・参加作品)

2010

リボン隊本日の隊員
秋葉原／秋葉原にあるアートセンター／ネット TAM／インターネット／
秋葉原の「住人」

秋葉原の電子パーツ屋さんに初めて行ったとき、素人が故に門前払いをされたことから、ジャンルごとに人々が住み分けて交流のないことに違和感を感じ、始まったプロジェクトの展示。岸井大輔「東京の条件 5月総会」にて発表。秋葉原にいる、オタクと呼ばれる人たち、アート関係者、会社員の3種類の人々が同時に集えるような空間を作成。

リサーチではインターネットでボランティアを募集、元メイド経験者のアーティスト山下由貴とのメイド喫茶ツアーを開催し、参加者とパフォーマンスを行う。そこで「オタク」とよばれる「秋葉原の住人たち」と交流が生まれ、彼らに知識をもらいながら門前払いされた電子パーツ屋さんを再度訪れ「かわいい電子工作」ラジオカチューシャを制作。展示では、リサーチで知り合った人々が思い思いに活動するようすを「展示」。メイド喫茶のデータベース化に取り組む会社員たかとらの「幼女かいわれ」、ひとりで上京し寂しいからプロジェクトに参加した19歳の青年がずっとやりたかった初女装、ヲタ芸師、粉団子のステージ等が開催。「自分がやりたいことをやっている」という熱気に包まれた。また山下の「オタ芸ワークショップ」、清水チナツの「図書館」、そして岸井の「会議体」等が開催され、女子高生から会社員、アート関係者まで様々な人々が集い交流した。その後19歳の青年が「女装アオちゃん」として数々のアートプロジェクトに出没、マスクott的存続となるなど、イベント後にもゆるやかな変化、交流が続いている。

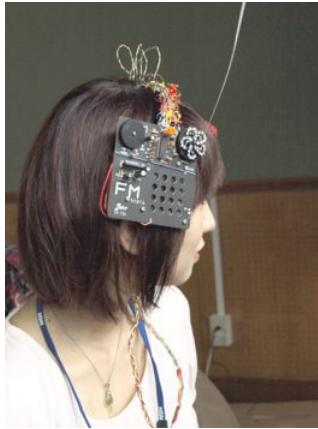


初女装の「アオちゃん」にデートをせがまれたリボン隊たなべ



あつた瞬間から宇宙の動画のリンクを紹介するすださんの実験コーナー

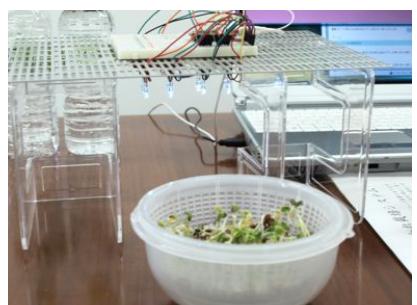
知識のから秋葉原通りをして制作したラジオ力
ミュージャ。完成後の秋葉原散歩では、客引きの
メイドさんのかわいいの称号をもらい「かわいい
保証」付き。日本画通信課程の甲斐と制作。



なにかと積極的な19歳たいき。コスプレパレードに
参加していた三重くんも三重から上京。



秋葉原のメイド喫茶をデータベース化する計画を
進行中のたかとらさん（当時。2014年は全国
のデータベース化に着手）。幼女かいわれという
作品を作った。光があたると成長しないかいわれ
の性質を活かして、Twitterで「幼女」とぶやくと
LEDが発光し、かいわれが成長しないままの状態
に保存されるというもの。会場で試食会を行った。





cleaning by a stranger

東京都小平市／武蔵野美術大学第二校舎 201／2009.1

展示室に入る。一見何もないように見える。しかし中に進むと床の一区画だけ質感が変わっていることに気づく。

掃除業者による清掃サービスの痕跡である。

発注：クリーニングサービス

-29,400yen on 6665,000yen

協力：ダスキンムサシノの皆さん

4年間(6665,000円)の様々な思い出の中に、29,400円の契約関係を持ち込む試み。

卒業制作期間中は様々な学生たち同士の結束や協力の下で巨大な作品が構築されていく。

私はこれは、この状況はなんだろうと思った。このことを分かりたいと思った。

私は学校とは無関係の人と協力しようと思った。

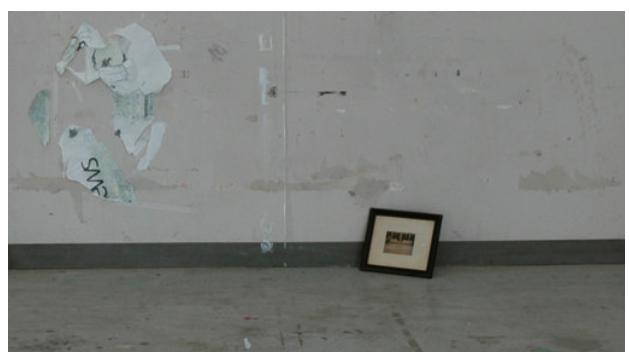
第二校舎201教室は最後の一年間使ったアトリエでもあり、掃き掃除以外の習慣はないので歴代の学生が残したシミや跡が毎年増えていく。

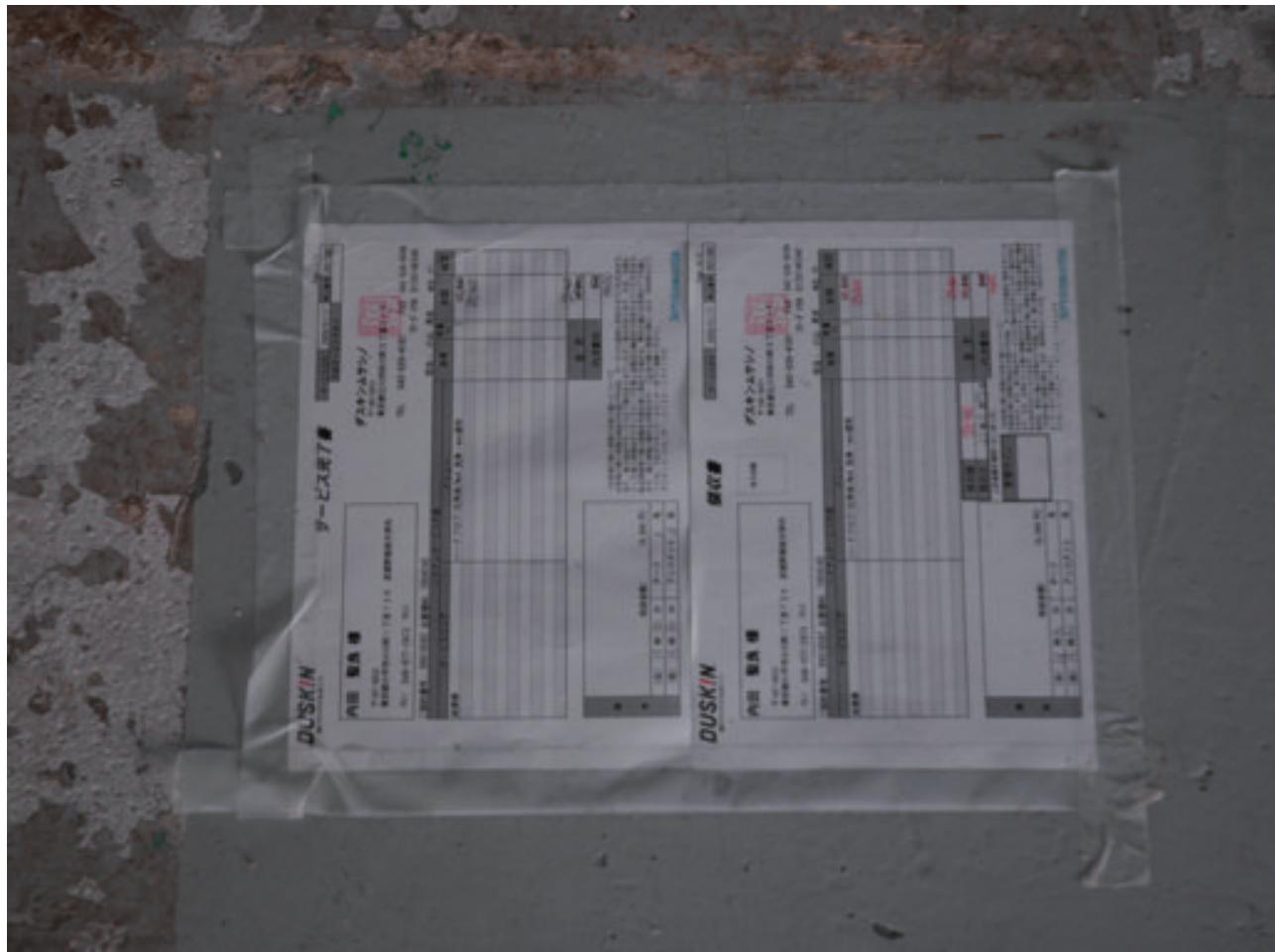
そういうものが、わたしにも積もってしまって、きっと今のこの状況が分からないんじゃないかな。耳の掃除をすれば、耳がよく聞こえるようになるように、床（歴代のシミがついた自分の意識）の掃除をすれば、頭がよく働いて考えが冴えるかもしれない。

この部屋を考えるための場所にしてみよう。



私は床を磨いてもらった。それからこの部屋のきれいなところときれいじゃないところをぐるぐると歩きながら考えたことを、少しづつインスタレーションにして部屋の隅に置いた。





2017	あきたの美術2017 秋田県立美術館／秋田 かみこあにプロジェクト2017 上小阿仁村／秋田 わたしうみみたい展 ターナーギャラリー／東京 クリエイターズクリスマス ココラボラトリー／秋田 TRANS BOOKS TAM コワーキング／東京 RAM EXTRA「凡人ユニットのぼんおどり～結婚ってなに？～」 秋田公立美術大学BIYONG POINT／秋田
2016	凡人ユニットのぼんおどり～結婚ってなに？～ in 福知山 山山アートセンター／京都
2015	OVER THE IAMAS - イアマスを越えて #5 内田聖良 「余白」の使用法 余白書店と道具 gallery 16／京都 情報科学芸術大学院大学 第13期生修了研究発表会・プロジェクト研究発表会 ソフトピアジャパン・センタービル／岐阜
2014	神戸アートビレッジセンター主催／若手芸術家・キュレーター支援企画 「1floor 2014「またのぞき」」 参加、神戸アートビレッジセンター／兵庫 情報科学芸術大学院大学 第12期生修了研究発表会・プロジェクト研究発表会 ソフトピアジャパン・センタービル／岐阜
2013	「Bon Odori -What is marriage?- in Gallery FRISE」 FRISE Gallery、ハンブルグ、ドイツ ※凡人ユニットとしての活動 「学生CGコンテスト受賞発表イベント CAMPUS GENIUS MEETING」 MIRROR、東京 「ジェスチャー入力デバイスと仕草のアーカイブ展 凡人ダンスコレクション」ソフトピアジャパン・センタービル／岐阜 ※凡人ユニットとしての活動 IAMAS OPEN HOUSE2013 イアマスってなに？ パフォーマンスとファッションドバイス展示 IAMAS校舎／岐阜 ※凡人ユニットとしての活動 踊るよ！さよならIAMAS OS 2.0 まつり VJ出演 IAMAS OS 2.0／岐阜 ※凡人ユニットとしての活動 AAF2013参加企画『余白ネットワーク～あそびがある！(・ω・'☆)～』 浜松および日本各地 ※余白ネットワークとしての活動
2012	"ぐるっこ展「こきゅうするいえ～ある女の子たちの物語～」": ぐるっこのいえ / 東京 "メディア・ジム 道具をつくる身体をつくる Document Media Gym": コーポ北加賀屋 NPO法人remo / "舞鶴ではんだアクセサリーを作る会": yashima art port / 京都
2011	メディア・ジム 公開ワークショップ Media Gym 道具をつくる身体をつくる: コーポ北加賀屋 NPO法人remo / "YELLOW ROAD ちいさな きいろいもの" 展: VACANCE ORMORY／東京 "シャトー・パフォーマンスアート・マルゴーvol5": 小金井アートスポットシャトー2F / 東京 "継続研究会": 都内各所 / 場所可変 "シャトー・パフォーマンスアート・マルゴーvol4": 小金井アートスポットシャトー2F / 東京 物件ダンス会場で公開電子工作を試みる "シャトー・パフォーマンスアート・マルゴーvol3": 小金井アートスポットシャトー2F / 東京
2010	"装置": DESIGN FESTA GALLERY WEST 1-A / 東京 東京の条件新人紹介 "勝手にレジデンス B_O_T 展示": 秋葉原・小金井アートスポットシャトー2F / 東京 Festival Tokyo参加作品 ボルトB "完全避難マニュアル" コーディネーター: 山手線各駅 / 東京 "うさぎ+天使計算": 秋葉原ドレスホール / 東京 "展示「LEDとリボン」": アーツ千代田3331 東京アートポイント計画ルーム / 東京 "秋葉原リボンちゃん隊ツアーアー": 秋葉原メイド喫茶・秋葉原ドレスホール / 東京 "カフェトライ&エラー": 東京深川モダン館 / 東京 アーツ千代田3331 インサイドアウトトキヨープロジェクト インターンスタッフ
2009	横浜国際映像祭2009 セイラのトライ & エラー "中之条ビエンナーレ2009" (佐藤未来×内田聖良): 中之条町旧第三小学校 / 群馬 "ART & PHOTO BOOK EXHIBITION2009": 新宿眼科画廊 / 東京 "卒業制作展": 武蔵野美術大学第二校舎201教室 / 東京
2008	"絵画の制作学": 武蔵野美術大学課外センター / 東京 "GEISAI#11": 東京ピックサイト / 東京 "art&photo book exhibition": 新宿眼科画廊 / 東京 "ちこく厳禁": 武蔵野美術大学課外センター / 東京 "GEISAI MUSEUM#2" (共同出展者: 池田幸穂, 佐藤未来): 東京ピックサイト/東京
2007	"富士山展": 武蔵野美術大学 / 東京 "サラダ会" "破壊": 武蔵野美術大学課外センター / 東京 "もものかたち": 武蔵野美術大学課外センター/東京 ライブペインティング 東京豪華夜集会 まう (石塚彩夏, 内田聖良, 香川真弓, 佐藤未来, 葉栗翠, 山本周平): ラゾーナ川崎プラザソル / 神奈川
2006	"安行百花展": GREEN ART TEAM / 埼玉 "うたのい展": 武蔵野美術大学 / 東京